

目的

- ◆女性が防災の担い手として次の第一歩を踏み出すきっかけづくり
- ◆女性の生活の知恵を活かすことで、都民の一層きめ細やかな災害の備えが進んだ「セーフシティ」の実現

ターゲット

- ◆メインターゲットは女性！
- ◆世代・婚姻の有無・子どもの有無など様々な属性別の女性に興味のある内容とし、有益で、使いやすい防災ブックに。

手段

防災ブックの要件

- ◆**女性の視点を活かす**
⇒生活者視点・暮らしに根差したリアルな視点による記載内容
- ◆**「1つでもいいからはじめる」という、気軽に向き合えるノウハウ本**
⇒「東京防災」は「全て」を網羅した本。それに対して、日常生活の延長線上で簡単にできる内容の本
- ◆**ちょっとした工夫や小さな一つ一つの「できること」の積み重ねを安心感につなげる（敷居を下げる）**
⇒日常の中において、できることから一つひとつ実行していく。
その積み重ねが、一人ひとりの暮らしを安全なものへ変えていく。
(例：「重い本は、本棚の上段におかない。」、
「食器の重ね方を変えてみる」 など)
- ◆**「わたしごと化」しやすい本**
⇒防災を特別なものと捉えないで、読んだ人が防災を「わたしごと化」しやすい本に。
- ◆**しっかりした防災対策も記載**
⇒全ての内容を気軽に取り組めるものにするのではなく、発災時における対応や避難生活などはしっかり記載し、メリハリをつける。

今までの防災の概念

防災

暮らし

それぞれの暮らしからは遠い、
特別な取り組み

本冊子の防災概念

暮らし=防災

暮らしながらできる防災